

核なき世界へ向けて

被爆国の役割を考える

昨年7月7日に国連で核兵器禁止条約が採択され、

9月20日に署名開放されて以来、1年がたちました。

同条約をめぐり、

それに賛成する国と反対する国との間では

依然として立場に大きな隔たりが見えます。

こうした中、日本を始め各国政府や国連には

何が求められているのでしょうか。

また、唯一の戦争被爆国である

日本の市民一人ひとりに何ができるでしょうか。

国連が定める「核兵器の全面的廃絶のための

国際デー」を前に考えます。

基調講演

核兵器廃絶への
道筋に光は見えた

田中熙巳
日本原水爆
被害者団体
協議会代表委員

トーク



川崎哲
核兵器廃絶
国際キャンペーン
(ICAN)国際運営委員



ゲスト
吉永小百合
俳優

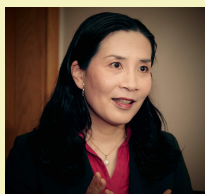
パネル ディスカッション

「軍縮教育の可能性－核兵器廃絶と市民社会」

パネリスト



今西靖治
外務省
軍備管理軍縮課
課長（調整中）



土岐雅子
ミドルベリー国際大学院
ジェームズ・マーティン
不拡散研究所



工藤恭綺
ナガサキ・ユース
代表团 第6期生

モデレーター



根本かおる
国連広報センター
所長

メッセージ 河野太郎外務大臣（代読、調整中）

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)

展示 ノーベル平和賞メダル（公式レプリカ）



2018年9月24日(月・祝)
16:30~19:00 (開場16:00)

明治大学駿河台キャンパスリバティホール（リバティタワー1階）

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html

東京都千代田区神田駿河台1-1 御茶ノ水駅 徒歩約3分 新御茶ノ水駅 徒歩約5分 神保町徒歩約5分

〔参加費〕 無料

〔申込方法〕 ●一般の方は、事前に申込フォームより9月19日（水）18時までにお申し込みください。

ただし先着順で定員となりしだい締め切ります。 <http://pr4.work/0/sep24>

●報道目的のメディアの方は、メール（下記）にて氏名、社名、媒体名と電話番号をご連絡ください。

〔お問合せ先〕 核兵器廃絶日本NGO連絡会 nuclear.abolition.japan@gmail.com 03-3363-7561（ピースポート気付）

